

財務ハイライト(連結)

ドで進む社会の変化に適応し、22年3月期の過去最高益水準を維持し乗り越えるためにも、「何々と言えば豊田通商」とお客さまに言っただけの「タグ」を増やし、「次の新しいステージ」で新たな挑戦をすることが必要であると考えています。

2022年は、当社が「次の新しいステージ」へ進むために推進している4つの重点分野のひとつアフリカ事業を開始してからちょうど100年が経つ節目の年です。8月には第8回アフリカ開発会議(TICAD 8)が開催され、「for the future children of Africa」というキーメッセージのもと、当社は25件のMOUを締結いたしました。今回締結したMOUの具体化を図り、事業を通じて現地の社会課題解決と経済発展への貢献を加速していきます。

[P3.4「特集」参照](#)

また4つの重点分野のひとつであり、昨年11月に策定した「カーボンニュートラルロードマップ2030」の中核でもある再生可能エネルギー事業、その中で重要な役割を担うユーラスエナジーホールディングスの100%子会社化を2022年8月に実施しました。同事業への取り組みを加速し、脱炭素社会への移行に貢献していきます。[P5「Global Vision達成に向けた取り組み」参照](#)

これからも、唯一無二の価値を創造しうる存在としての「タグ」、すなわち「豊田通商ならでは」と言われる事業領域の確立、貢献できる領域の拡大に取り組む我々の「次の新しいステージ」に、ご期待ください。

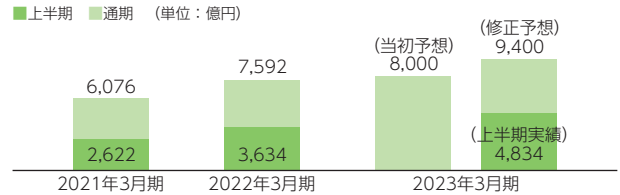
豊田通商グループをご理解いただき、ご支援くださっている株主の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具
2022年11月

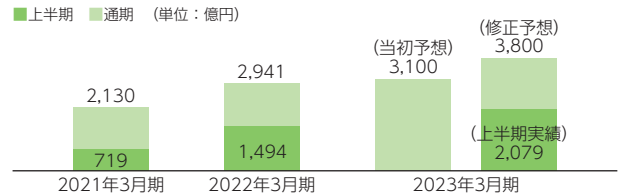
当上半期連結業績

当上半期の当期利益(親会社所有者帰属)は1,512億円となり、上半期の実績としては過去最高を更新いたしました。また、当期の中間配当金は、1株当たり96円とさせていただきます。

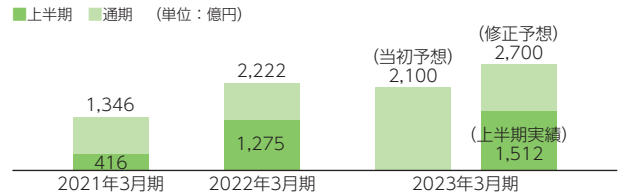
売上総利益 4,834億円(前年同期比33.0%増)



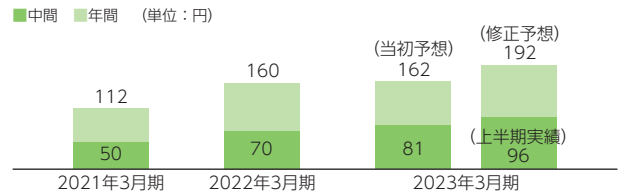
営業活動に係る利益 2,079億円(前年同期比39.2%増)



当期利益(親会社所有者帰属) 1,512億円(前年同期比18.6%増)



1株当たり配当金 中間配当96円(前年同期比26円増)



決算の詳細はこちらよりご覧いただけます

